学校番号	3035

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	(学)公共セミナー	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校公共　（第一学習社）						
副教材等	2025 最新図説公共　（浜島書店） 改訂版　４ステージ演習ノート　公共　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年次の「公共」に引き続き、現代社会の諸課題に対して、自ら解決する方法を探究することにより、より発展的に自らの課題として捉えること。
・これから社会を形成する主体として、多様な主体と協働し模索しながら、社会参画とよりよい社会形成に必要な素地を身につけること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代の諸課題について理解を深めるために手掛かりとなる概念や理論を理解するとともに、関連する諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代の諸課題を解決する方途について、多面的・多角的に考察し、その妥当性を公正に判断するとともに、他者との議論を通じて、合意形成や社会参画を視野に入れながら、さらに検討を深めていくことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的な空間に生き、国民主権をになう公民として、国際社会の平和と繁栄にむけて、各国が相互を尊重し、協力し合うことの大切さを自覚する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	諸資料を収集し、基礎的知識を身につけるとともに、「公共」で学習した内容と関連付けながら、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	社会的な事象の本質や課題について、２年次「公共」で学習した内容とも関連付けながら、広い視野に立って多面的・多角的により発展的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	現代社会と人間に関する関心を高め、意欲的に課題を追究解決しようとしている。平和で民主的なより良い日本社会および国際社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としてのあり方・生き方についての自覚を深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	国政と地方自治の課題	1　国会と立法 2　内閣と行政の民主化 3　地方自治と住民の福祉	a：国会の地位、議院内閣制や地方自治のしくみについて理解している。 b：現代日本の行政の民主化や地方自治における直接民主制の運用について種々の情報手段を活用して考察、表現している。 c：国政・地方自治について主体的に解決しようとしている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・ペアワーク、グループワーク等 ・授業内課題	・授業内での取り組み姿勢 ・課題提出 ・ペアワーク、グループワーク等
	国際社会と国家主権	1　国家と国際法 2　国境と領土問題 3　国際連合の役割と課題	a：国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b：国境や領土問題、国際連合の諸課題を主体的に解決するために必要な情報を収集し、多面的・多角的に考察・表現している。 c:国際社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・ペアワーク、グループワーク等 ・授業内課題	・授業内での取り組み姿勢 ・課題提出 ・ペアワーク、グループワーク等
後期	日本の安全保障と防衛	1　平和主義と安全保障 2　核兵器の廃絶と国際平和	a:日本国憲法の平和主義、核廃絶の取り組みについて、諸資料を収集し、基礎的知識を理解している。 b:安全保障政策の変遷や、軍縮に向けて世界がどのように取り組むべきか、について多面的に考察し、その課題や解決策について表現する。 c:日本の平和主義をとらえたうえで、国際平和や軍縮に向けて日本が果たすべき役割や政策について、主体的にとらえることができている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・ペアワーク、グループワーク等 ・授業内課題	・授業内での取り組み姿勢 ・課題提出 ・ペアワーク、グループワーク等

	国際社会の変化と日本の役割	1 今日の国際社会 2 人種･民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	a:グローバル化が進展した国際社会の特徴、人種・民族問題や紛争、難民問題について理解できる。 b:国際平和を築くためにどうすればよいかについて、多面的・多角的に考察し、論理的に表現することができる。 c:国際社会が直面する課題に関心を持ち、国際社会の課題とその解決策について、主体的に考えることができる。	･定期考査 ･授業内課題	･定期考査 ･ペアワーク、グループワーク等 ･授業内課題	･授業内での取り組み姿勢 ･課題提出 ･ペアワーク、グループワーク等

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度